

広報なかむと

第348号 発行1999年7月10日

《No.348》

仲間やんぱり 市民謡流しを体験して



● 市民謡流し
● 民謡流し
● 民謡流し
● 民謡流し
● 民謡流し
● 民謡流し
● 民謡流し
● 民謡流し
● 民謡流し
● 民謡流し

私たちの町の
肉の旬月誌
● 大田 3,450 (一 8)
● 大田 3,517 (一 1)
● 大田 3,567 (一 9)
● 世帯 1,642 (一 1)

〒949-6601 中里村大字中里 電話 (0257) 63-2511

行事予定表

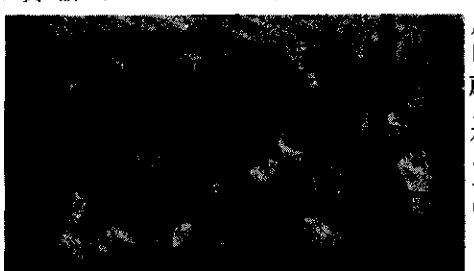
7月11日～8月10日

12 (金)	心配ごと相談日(老人福祉センター13:00～16:00)
14 (日)	休日救急区(津南病院☎65-3161) 村内自然めぐり(小松原) 大村杯争奪野球大会 アニ解説 農地法関係許可申請/切 30周年祭民謡流し踊り講習会(田沢小体育館20:00～) 運転者講習会(倉俣地区、倉俣生活改善センター19:30～)
15 (月)	精神衛生相談日(保健センター13:00～15:00) 30周年祭民謡流し踊り講習会(倉俣地区体育館20:00～)
16 (火)	30周年祭民謡流し踊り講習会(貝野地区貝野小体育館20:00～)
17 (水)	運転者講習会(貝野地区、貝野多目的研修センター19:30～) 30周年祭民謡流し踊り講習会(清津峡地区、清津峡小体育館20:00～)
18 (木)	心配ごと相談日(老人福祉センター13:00～16:00) 30周年祭民謡流し踊り講習会(高道山地区、高道山小体育館20:00～)
19 (金)	20日夜清津峡山開き・みこし 21日ラッキ大会、ニジマス釣大会、深山市、益我市、清田山自然運動公園・清田山テニス大会 七ツ釜・腕ずもう大会 休日救急区(池田医院☎52-2381) 運転者講習会(清津峡地区、高道山小体育館19:30～)
20 (土)	清津峡まつり
21 (日)	休日救急区(池田医院☎52-2381) 運転者講習会(清津峡地区、高道山小体育館19:30～)
22 (月)	運転者講習会(田沢地区、総合センター19:30～)
24 (水)	30周年記念式典
25 (木)	心配ごと相談日(老人福祉センター13:00～16:00)
26 (金)	休日救急区(富田医院☎52-3269) 30周年体育祭(中里中グラウンド 9:00～)
28 (日)	飯山線の旅・夏休み母と子の旅
30 (火)	心配ごと相談日(老人福祉センター13:00～16:00)
2 (金)	休日救急区(上村病院☎63-2111)
4 (日)	移動交通事故相談日(十日町市役所10:00～15:00)
5 (月)	心配ごと相談日(老人福祉センター13:00～16:00)
9 (金)	国際青年交通安全家庭の日
10 (土)	

*変更する場合があります。御用の際は担当課で確認を。

思い出の一枚

とにかくこのころは楽しかった。仮装大会があちこちで行なわれ、山本さん(前列左端)と組んでよく出ました。近所でも「とびあがり」で通っていました。写真の仮装大会は、昭和三十五年にお堂の後ろに石垣を築いた記念に行われたときのものです。



小出 藤ノ木 ケサウさん

▶前列の左から二番目が藤ノ木さん。



お忘れなく

- 妊婦検診
7月23日/13:30～14:00/上村病院
- 母親学級
7月23日/12:30～13:00/上村病院/妊婦中の保健(後期)
- 献 血
7月16日/10:00～15:00/保健センター前
- 村民健康検診
8月6日/ 9:00～10:30/如来寺、角間、蔭沢、土倉、倉下、小出
13:00～14:30/芋沢、高道山、朴木沢、市之越、朴木沢新田、たか場、白羽毛、程島
8月7日/ 9:00～10:30/小原、東田沢、豊里、新屋敷、本屋敷堀之内
13:00～14:30/上山、宮中、千溝、通り山
8月8日/ 9:00～10:30/田中、田代、下山、重地
13:00～14:30/桔梗原、芋川、芋川新田、倉俣、清田山
8月9日/ 9:00～10:30/新里、原町 田沢、山崎
13:00～14:30/桂、荒屋、西方、西田尻、東田尻

運転者講習会

7月15日⇒倉俣地区 18日⇒貝野地区
22日⇒清津峡地区 24日⇒田沢地区
夜 7:30～9:30まで(予定表参照のこと)

編集後記

いよいよ本格的な夏の到来です。海や川、山に親しむ絶好の機会です。二家族くらいでキャンプするのはいかがですか。たきぎ拾い飯ごうでの飯たき、みそ汁のしんの味切り、いろいろな仕事を通して親子であう、また、美しい自然を家族で味わう。とってもよいことではないでしょうか。しかし、行き帰りの車の運転だけはしっかり願います。楽しみのための遊びが、悲しみに変わるなんて、お互いに気をつけましょう。

今月の表紙



おもしろいこと

見直そう田舎の魅力



▲言葉で言えない美しさ・苗場山頂



すばらしき妻有の自然

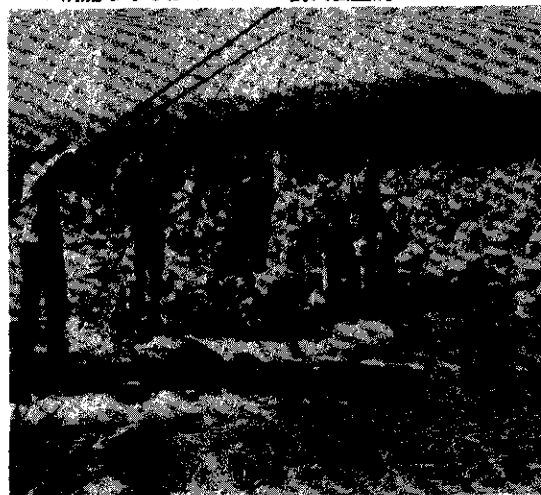
津南高校教諭・自然に親しむ会

井上信夫さん

妻有の自然は、なぜ人々にかくも厳しい試験を与え、そしてやさしく包みこむのだろうか。冬の豪雪は半年近くも人々を閉じこめ、家族をもひき裂き、時には人命さえも奪う。しかし、春ともなれば雪の壁はまぶしい陽光をあびて徐々に溶け、そのしずくは林を伝い、より集まってせせらぎとなり、清流に注ぐ。豊かな流れは幾多の生命を育み、そして田畑を潤す。新緑のブナ林の下に舞い踊る花々に大地の息吹が確かに感じとられる。ものみな躍動する短い妻有の夏、大地の恵みが一気に実を結ぶ秋、四季折々妻有の自然は表情を変える。

最近、山や川で子供達が群れをなして遊ぶ姿を見ることがなくなった。事故を心配する大人達の配慮があったのかも知れないが、自然離れは即ち地域離れにつながるような気がしてならない。次代を担う世代に郷土の自然の恵みと恐ろしさ、そして何よりもそのすばらしさを体験させ、この自然とともに生きていくことが、最も人間らしい生き方であることを身をもって伝えていくことが必要ではないだろうか。

▼清流ならではのニジマス釣大会盛況



少ない自然災害

毎年のように台風で家が壊される。火山の噴火で火山灰が降る。地震が多い、土砂くずれが怖い、川が氾濫する。全国にはこんな厳しい自然条件の中で暮らしている人がたくさんいます。

昭和五十七年の七月、八月の集中豪雨だけで、死者、行方不明者合せて四百二十八人となっています。当村では、昨年二月想像できなかった清津峡温泉雪崩災害で五人の尊い命が奪われましたが、過去に自然災害で亡くなった人は数えるくらいではないでしょうか。

こうして見ますと、この地域は災害の少ない平和な村といえます。

快適な生活にあと一歩 進む屋根雪処理

昭和四十年代に入って、本格的に国・県道の除雪が始まりました。その後の急速な除雪機械の改良・消費パイプの開発で冬場の道路確保は、見がええるようになってきました。

雪国の宿命と思われる「屋根の雪ほり」も、昭和五十年代に入り急速に進み、特にこの五年間の進歩は著しいものがあります。

当初の自然落下方式から屋根の上で融かす方式の研究が進められています。現在、家庭内の余熱を屋根裏に回す方式や、屋根の上にパイプで温水や熱空気を循環させて融かす方式が研

究されています。昨年、十日町市で開かれた雪シンポジウムでは、民間会社が開発したいろいろな融雪方式が展示されていました。これらを見たとき、雪国の生活も、この五十年で随分快適になったという確信をもちました。

今後、更に高齢化社会が進み一人暮らし老人宅なども増えることから「雪ほり」問題の早期解決が必要です。雪処理問題は、行政・民間が一体となって取り組んでいく必要があります。雪国の生活がより快適なものになるよう、村民の英知を結集しましょう。



病院が近くて安心

千満

広田登代美さん

お米をはじめとして、食べ物がいっぱい。魚には少々難があるけれど、春の山菜に始まり、ちまき、菜類、キノコ、ソバ等々、とにかくおいしい。それと、病院がそばにあるので、子どもの急な発熱のときなどいつでも診てもらえるのはうれしかった。村で行っている各種の検診なども、大きい自治体ではこれほど徹底できないのではないかと思います。

上越新幹線開通、関越自動車道の今秋開通で、大消費地東京と、約二時間半で結ばれます。このことは、農業振興、工場誘致等の産業振興にも有利な条件です。また、近年の情報処理システム（キャプテンシステム

有利な立地条件 首都圏にも目撃り

あなたは、ここに生まれ育ったことに誇りをもっていますか。わたしたちは、つい「豪雪」「過疎」「交通不便」……と悪いことばかりをならべて「ここは住みにくい」と悲感しがちです。しかし、本当にこの地域は住みにくいのでしょうか。他の地域のよい面ばかりを見て、当村と比較してはじまりません。もっと中里村のよい面を目を向けてみましょう。

心なごます。 美しい自然

水、空気、太陽、土、これは人間生活と切り離せない大切なものです。塩素で消毒されたまじい水、汚染された空気、土のないアスファルトジャングル、こんな環境の中に真の幸せがあると思いますか。わたしたちは、ふだん気づきませんが、四季の移り変わりの美しさを味わえるのは雪国の特権です。とくに早春の美しさと躍動感、

安心して暮らせるって 幸せなこと

等)の高度化は、従来首都圏にいなければ入手できなかった情報も田舎にないがらにいつかむことが出来るようになります。こうなれば都会の環境の悪い中で働くよりも環境のよい田舎が働く場としても見直されてくるのは当然です。

安心感のある生活

昨年、県内で発生した刑法犯は、二万六千九百四十二件となっています。当村では昨年十七件発生していますが、人口割合で見ますと非常に少ない数です。これは、風俗営業などが少なく生活環境がよいことが考えられます。

夜も昼間もカギをかけずにいられるのは幸せなことではないでしょうか。これはよい意味で、個々のつながりが強い証拠です。



▲この笑いに歓声をあげる都会の人

温かい人情
六日町営林署
倉俣担当区
山田和人さん

ここに赴任して三年目、この人たちのもつ温かい人情味や苗場、当間、小松原などの雄大な自然に囲まれて最高の気分です。春の山菜、夏の鮎、秋の紅葉、冬のスキーと絶好の楽しみがあります。これからの中里村には、農村のもつゆとりある生活を目ざしてほしいと思います。壊す自然でなく生かす自然があると思います。

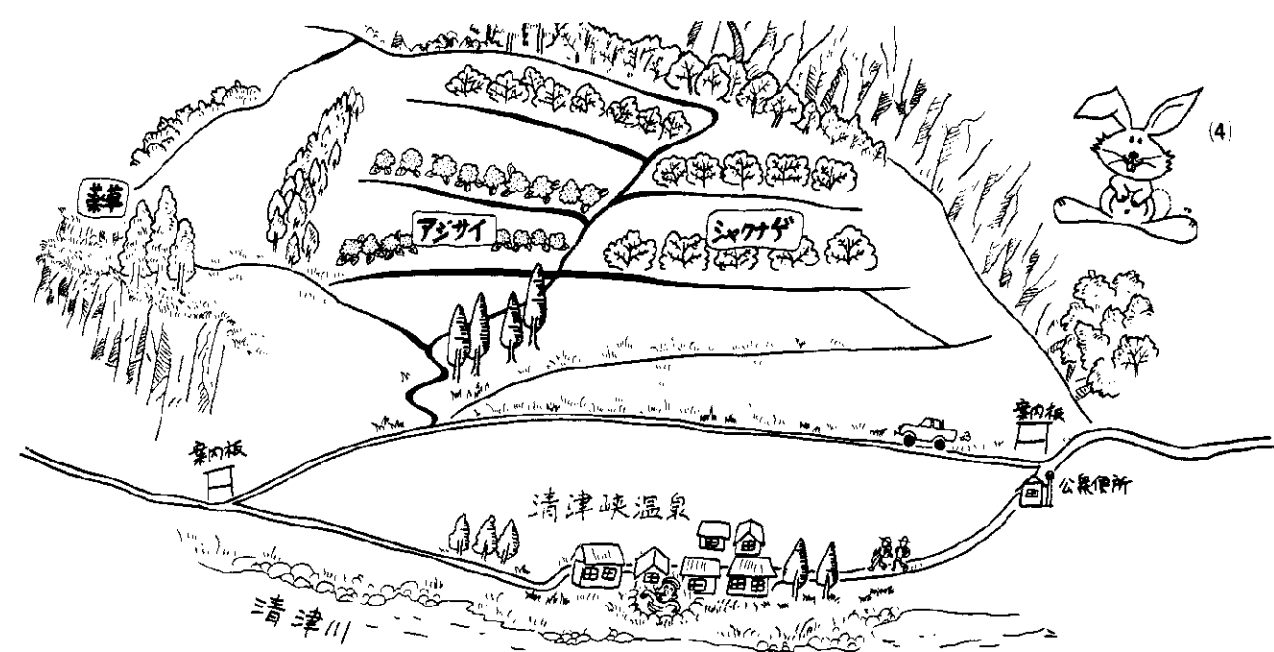
水・山菜最高よ
澤沢
山本治子さん

水がとってもおいしい。わたしが生まれた千葉県茂原市では、井戸水の中に鉄分が多く濃くないと飲めませんでした。今は違うと思いますが、わたしが小さいころは台風が来ると集中豪雨に見舞われ、道路も水田も一面川となってそれは大変でした。ここに嫁いで二十年、大好きな山菜とりに行って冷たい清水を飲むとき「いい所にきた」としみじみ感じます。

身体がとても快調
通り山
関谷健次さん

とにかく体調がいい。いい自然の中で自然な物を食べる。最高ですね。都内からここに移り住んで五年目、長年患っていた胃腸も快調で、目下医者知らずです。東京に住んでいて驚いたことは、雨が降ると腰いたばかりの車が黒く汚れるんですよ、これは恐ろしい発見でした。

わたしは、いま無農薬栽培をやっています、もっと農業の害や食品添加物の害について関心をもって欲しいですね。



津清 楽しむ花も

峡に

津清峡の温泉街をシヤクナゲやツツジの花でいっぱいにして、やすらぎの感じられる観光地にしたい……こんな願いを込めて、津清峡温泉の人たちが、花いっぱい十周年計画をたてました。今年は、すでに案内標識の周りやトイレの横に、ツツジやヒマラヤスギを植えました。



花と溪谷美の地に

小出 桑原 清さん

高速交通時代の今日、雪消えとともにマイカーが訪れます。津清峡溪谷の残雪、観光区間の短縮等で時間的制限のある中、観光客の足をとめるのが課題です。そのために溪谷一本でなく周辺の公園化等が考えられています。その一環として、花いっぱいの中で腰をおろしくつるげる環境を作りたいと思います。近い将来は、花と溪谷美が楽しめ、やすらぎのある観光地になるよう努力していきたいと思っています。

みなさんも気づいたことがありましたらぜひ、お聞かせください。

ある観光地にしたい」とは、計画では、今後、温泉街の裏山を利用し、シヤクナゲ、ツツジ、アジサイ等を植えていきたい考えです。津清峡も国道三五三号線の改良とともに、湯沢町などに宿泊した人たちの通過観光地化しています。こうした傾向に歯止めをかけていくためには、津清峡を訪れた人たちに、この文化やよきを感じられる所にしていくなかであります。今後、更に津清峡まつり等を個性豊かなものにしていくために知恵を集めたいものです。

▼見事なジャンプ山本国雄君



すばらしい伝統の第一歩を築くため、先生も生徒も一丸となって頑張っている新生中里中学校。三中学校からの勇者がそろい選手層の厚みと競争意識が生まれ部活に活気がみなぎっています。部活は、毎日、三時から六時半まで（バス通学は六時）みっちり行われています。去る六月十八日、十日町市南中学校で行われた、郡市中学校陸上選手権大会では、中里中学校選手健闘が光りました。応援団も板につき勢のいい応援で選手を勇気づけました。ここでは、この成績と六月二十六・七日に行われた郡市中学校球技大会の成績をお知らせします。

- ☆陸上競技成績（入賞者）
- 〈男子〉（順位）
- 四百メートル ③井ノ川高志
 - 八百メートル ④井ノ川高志
 - 千五百メートル ③山本 秋彦
 - 三千メートル ③山本 秋彦
 - 走高跳 ③山本 国雄
 - 五高跳 ⑤富井 貴仁
 - 砲丸投 ③岡村 啓幸
 - 三種A ②山本 国雄
 - 〈女子〉
 - 走高跳 ⑤高井 芳美
 - 砲丸投 ②樋口 秀子
 - 三種A ⑥高井 芳美
 - 百メートル ②山本 陽子
 - 八百メートル ⑤山本 陽子
- ☆球技大会の成績
- バスケットボール（男子）優勝



▲強豪を相手に健闘する中里（中）



村づくり討論会

村制施行三十周年記念事業のトップを飾って村づくり討論会が、六月三十日総合センターを主会場に行われました。村内の各層から百八十四人が集まり、分科会での討論と基調講演に耳を傾け、村づくりへの関心を高めあいました。

○話題提供者

横大道伸一氏（あしたの新潟県をつくる運動協会推進委員）
井口清一氏（すみよい郷土建設協会中里分会長）
高橋 秀氏（中里村婦人連絡協議会長）

○司会

井之川安雄氏（中里村農業協同組合生産課長）

その後、事務局から日程説明が行われた後、第一分科会は総合センターで、第二分科会は商工会館で、第三分科会は保健センターでそれぞれ話し合いが行われました。

★第一分科会（生活改善とリサイクル）

この分科会では、横大道氏が京が瀬村や那須町（栃木県）の生活改善の優良事例や亀田町にできたガラスリサイクルセンターの概要を紹介。井口氏は、家庭内にアキ缶やアキビンコーナを設け、廃品回収に出す運動を提案。高橋氏は、冠

婚葬祭の簡素化は、広い分野の人たちの話し合いが必要と話されました。

意見交換の中では、子どものころから環境美化に対する教育を、他人のことは気にせずよいことは勇気をもってやろう。話し合いの機会を多くし、知恵を出し合おう。子どもたちに、物を大切にすること、仕事の苦しさ、喜びを体験させようなどの意見が出されました。

★第二分科会（通年観光と地域の活性化）

○話題提供者

井手伸明氏（安達事業グループ開発室部長）
平岩与志一氏（新潟相互銀行十日町支店長）

○司会

貝沢洋次氏（中里村観光協会理事）
この分科会では、井手氏が当村でのスキー場開発構想を語り、平岩氏が新潟相

互銀行の中里村支店計画について話されました。

意見交換の中では、これからの観光は、身体を動かして参加する方向に変わってきている。観光開発を成功させるためには、若者の要求をいかにつかみ、話題性をプラスしていくか。野沢温泉村のような地域ぐるみの温かきを感じる観光を心がけなくては。イチゴ園など農業を生かした観光開発を。とにかく国道三五三号線の完全無雪化が先だ。といった意見が出されました。

★第三分科会（中里村の特産品開発）

○話題提供者

五十嵐熊雄氏（守門村森林組合専務理事）
志賀政治郎氏（松之山商工会事務局長）
樋口義一氏（魚沼農産社長）

○司会者

中島正人氏（中里アグ会長）
この分科会では、五十嵐氏が山菜加工を軌道に乗せるまでの過程と今後の見通しについて話され、志賀氏は野鳥のけしき松之山町の特産品になるまでの過程を話されました。樋口氏は、フナの甘露煮をつくるなど新製品開発に対する情熱を語りました。

バスケットボール 気をはく!!

6月9日、川西町を会場に第33回、新潟県青年大会中魚沼郡予選会が行われました。この大会には、中里村、津南町、川西町の選手220人が集まり熱戦を繰り広げました。

中里村では、バスケットボール、男女バレーボール、剣道、野球の5種目に出場しました。

成績は、村内でも一番統率のとれている、バスケットボールチームが優勝。剣道が団体戦で二位、個人戦でも、中沢秀雄さん（上山）が優勝、三位に樋口秀夫さん（千溝）が入りました。

大健闘

（中里中）

みんなが新生中里中の健闘を喜びました。



役場支払日を 7月30日に変更

7月25日の支払日を、村制施行記念式典などの諸行事のため、7月30日にいたしますので、よろしくお願いします。

30周年記念式典の開催

7月25日、中里中学校体育館を会場に、村制施行30周年、中里中学校開校式・総合竣工式を合わせた記念式典が行われます。

この中では、村民憲章の制定発表、名譽村民制度の制定発表、村の木、花制定発表、特別功労者の表彰等が行われる予定です。

30周年記念(7/28) 体育祭に参加を

村制30周年記念事業の一環として、体育祭を行います。

長なわとびや村民大リレーなど、村民ごぞって楽しめる種目がたくさんあります。みんなで参加し、地域の連帯の輪を深めましょう。

★日時 7月28日(日) 午前9時～

★場所 中里中グラウンド

★チーム編成

第1チーム……芋沢、田沢、東田沢、桂、如来寺、豊里

第2チーム……上山、田中、小原

第3チーム……干溝、荒屋、山崎、通り山、桔梗原、芋川新田

第4チーム……清津映、高道山地区

第5チーム……倉俣地区

第6チーム……貝野地区



この作品は山田まゆみさんの協力掲載しています。

老人福祉大会 アトラクション ボランティア募集

毎年9月15日の敬老の日、長年社会に貢献してこられたお年よりたちを敬愛し、長寿を祝うために老人福祉大会を行っています。

社会福祉課では、従来この日のアトラクション(唄や踊り)を婦人会を通じてお願いしていましたが、今年度からは広くボランティアを募集して出場願うことにしました。

長年苦勞をされたお年よりたちに、ぜひ、楽しいひとときを過ごさせてやりたいと思いますので、ご協力をお願いいたします。

★申込み 7月30日までに役場社会福祉課 福祉係まで。

奉仕の心 7/1～7/31 愛の血液助け合い

毎年 500人を超える人たちが献血にご協力いただき、その人たちの奉仕の心に感謝しています。

7月1日から1カ月間愛の血液助け合い運動が実施されます。例年夏になると海や山での事故も多くなり、血液不足が生じます。

献血は、純然たる社会奉仕です。自己の血液を不特定多数の人々に提供する行為です。献血は、年齢が16歳～64歳までの人で体重が男子45kg、女子40kg以上ある健康な人であればだれでもOKです。

保健センター前に7月16日にゆうあい号がきますので、ぜひご協力ください。

いい汗かこう!! 唐松岳村民登山

清津山の会が中心となって、唐松岳村民登山が行われます。ぜひ、参加しましょう。

★日時 7月19日～21日

19日午後8時 総合センター前

★目的地 唐松岳(長野県白馬村) 詳しくは、清津山の会まで。

連絡先 富井吉三 ☎63-2810

信濃川の増水に注意を

本格的な夏を迎え、水による事故が多発する季節となりました。

国鉄信濃川発電所では、ダム放流による事故を防ぐため、警報用サイレンとスピーカーを設置してあります。

サイレンが聞こえたり増水してきたときは、安全な場所に避難してください。台風などの集中豪雨の時は、増水が早くなりますので十分注意してください。子どもたちは危険のない所で遊ぶよう指導してください。

国際青年年 フレンドシップ85' IN 要有GO!

★日時 8月10日～11日

★場所 十日町市民体育館および市民会館

★10日

・染色体験・着物ショー・もちつき大会・コンサート・ディスコ大会・盆踊り大会

★11日

・ウォークラリー 川西町二六公園・懇談会 川西町総合体育館

詳しくは、役場社会福祉課福祉係まで

飲酒運転の事故 医療費は全額自己負担

最近、飲酒運転による自損事故が発生しました。この場合急を要するわけですが、この医療費の全額は自己負担となりますので、後日国民健康保険に返していただきます。軽い交通事故などで病院に運ばれても50万～60万という医療費がかかる例が多くなっています。一歩誤れば、重大事故につながる飲酒運転は絶対にやめましょう。

大麻を見つけたら 保健所に通報を!

大麻草(アサ)やケシは麻薬の原料になることから、法律により一般の人が栽培することを禁止しています。

当村でも自然発生した大麻が発見されています。「何の草か知らなかった」というケースがほとんどですが、大麻ケシについては十分注意をしてください。

6月1日～8月31日までの3カ月間「不正大麻、ケシ撲滅運動」を実施していますので、大麻やケシを見かけましたら保健所に通報してください。

十日町保健所(57-2400)

停電のお知らせ

★日時 7月30日(火) 午前8時～午前12時まで。

★場所 倉俣、芋川、重地、下山、清田山、田代

精神衛生相談は お早めに!

最近、ノイローゼや、精神分裂病などが増えています。生活文化の向上は生活を利便にしている反面、人々のつながりや思いやりの心などを失う結果を招いています。

当村にも「息子が一日中ブラブラしている」「毎日イライラしている」といった家族を抱えて困っている人がいます。精神病というと特別視されがちですが、多くの人が日常生活の中で悩んだりして、軽い精神状態になることがあるといわれています。

早めに専門医の診断を受けることが一番たいせつです。下記日程で精神衛生相談を行いますので、お気軽においでください。

日時 7月17日

午後1時～午後3時

場所 保健センター

相談員 中条病院精神科医師・佐賀先生

改造しました 御陣荘の利用を

津南町にある御陣荘では、内部の改造を行い、6月20日から食事の提供等もできるようになりました。

■午後10時までやっています。

午前9時から午後10時までやっています。今まで利用できなかった夜も利用できます。

■洋会議室ができました。

60人収容のホールです。会議や研修、パーティなどにご利用できます。

■いい汗を...

浴室にサウナ室ができました。サウナでいい汗をかいてください。

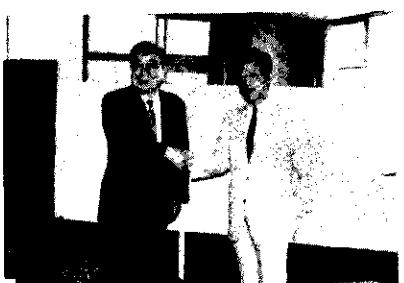
清津観光 開発(株)設立 当間山開発に着手

昨年の暮れから進めている当間山麓スキー場開発がいよいよ本格的にスタートしました。

七月三日、中里村と安達事業グループの共同出資による清津観光開発株式会社の設立総会が、役場議場で開かれました。

この席で安達事業グループ代表の安達達之助氏は、「現地を何回も視察した。すばらしい自然を生かした魅力あるスキー場を建設するため会社の総力を上げていきたい」と述べました。

上村村長は「当村にスキー場ができることは、中魚東須城地方にも大きなメリットだ。一日も早いオープンをめざし村の活性化を図りたい」と期待するあいさつをしました。



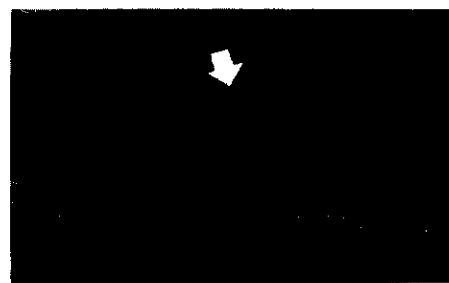
▲共存共栄でたのみと村長

今後この会社は、国有林の水源かん養保安林の代替問題や地権者との補償交渉を進め、八月中には実施計画を立てる予定です。

《会社概要》

- ・資本金五百万円(内村百五十万円)・役員、取締役社長 秋田實、取締役 安達達之助、井手伸明、山岸巳之政、監査役 増島三吾、鈴木敏雄、事務所、旧歯科診療所二階。
- ★スキー場構想
- ・(昭61)昭62年着工
- ・ゴンドラ一基(延300m)
- ・リフト三基(延300m)
- ・レストラン兼駅舎(二百席)
- ・駐車場(二、〇〇〇台)
- ・(昭63年着工)
- ・山頂レストラン(二〇〇席)
- ・(昭64年着工)
- ・リフト二基(延140m)
- ・環境アセスメント調査報告を尊重し、すばらしい自然をできるだけ壊さないスキー場づくりをめざします。

お知らせ



▲広域農道を臨む

中里村の高道山と津南町赤沢を結ぶ十一号が広域農道として認可され、昭和五十八年度から工事が進められています。

今年度は、一億三百万円予算がつき、その内六千七百万円が中里分となり、昨年路盤整備した部分の舗装と橋取り付けまでの掘割りの掘削(二百五十四・五m)と芋川側の用地買収に費されます。

村民のみなさんの期待の橋の完成は、五つの橋脚の工事が河川管理者との協議の結果、三年もかかることから、早くても昭和六十五年ごろになる予定です。橋げた部分も予算のつき具合で完成年が変わって行きますので、村では、橋の早期完成に全力を尽くしていきます。

お知らせ

広域農道は一億円

★白バイ隊来村
六月十四日、県警機動隊六日町分遣隊の白バイ一台と十日町警察署パトロールカー二台が村内の六カ所の保育所を訪れ交通安全を呼び掛けました。

★名譽村民条例
六月二十五日の第二回中里村定例会で名譽村民条例が制定されました。

贈る条件としては、本村で学術、技芸、その他社会文化の進展に貢献し、また

本村の功労者としてその事績卓絶で村民の敬愛を受ける者に贈られます。

★ゴミパトロール
六月二十六日、中里村住みよい郷土建設協会の人たちが村内を回ってゴミのパトロールを行いました。最近、故意なゴミ捨ては減少していますが、荒屋地内の掘り割り(トンネルの陥没地帯)部分には、まだ絶えません。ゴミを片づける人のことを考えたものです。

